

初任運転者へ教育

当該運転者が運転する同一車種区分(中型)の車両で実際に運行する可能性の高い経路で行っております。

「市街地」「山間地・坂道」「隘路」「高速道路」「夜間運行」で 20 時間以上の実施。

指導員は、運行管理者もしくは乗務員歴10年以上の者が添乗。

運転の癖・安全運転技能術・安全意識に対して重視した指導を行います。

初任診断の結果をもとに個人に合わせた指導を行っております。

また E ラーニングによる座学学習と実技で保存したドライブレコーダー映像・デジタルタコグラフのデータを用いた運転特性の把握と指導を行っております。

実技の終了時には安全統括管理者が同乗し見極めをしてから運転手として選任します。

データはドライブレコーダー映像及びデジタルタコグラフ記録を保存しています。

車両区分(小型)のみの教育を受けた運転者には、中型以上の車両を運転するにあたり、準初任者実技指導を同様に行っております。

〈経路 例〉

出庫 --- 長野駅 --- 白馬岩岳スキー場 --- 糸魚川海岸 --- 赤倉温泉 --- 帰庫

出庫 --- 地方テレビ局 --- 志賀高原 --- 野沢温泉 --- 飯山駅 --- 帰庫

貸切バス乗務員教育

月に1回、年12回「Eラーニング教習」にて乗務員の教育を行っております。
教材を利用し、定期的な学習により未然に事故防止に努めております。

4月:バスを運転する心構え

5月:バスの運行の安全、乗客の安全を確保するために遵守すべきこと

6月:バスの構造上の特性

7月:乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項

8月:乗客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項

9月:運行路線・経路における道路及び交通の状況

AED・三角巾を利用した救命救急実技講習

10月:危険予測及び回避並びに緊急時における対応方法

11月:運転者の運転適性に応じた安全運転

車両毎のチェーン脱着実践教育、気象変化や路面変化でのヒヤリ・ハット共有

12月:交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法

1月:健康管理の重要性

2月:安全性の向上を図るための装置を備えるバス適切な運転方法

3月:ドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリ・ハット体験談等の自社内での共有

